

ウンコはご馳走♪

伊那谷自然友の会2013年度総会講演会

「生態系の循環と“のぐそ”」

講師：伊沢正名さん(糞土師・キノコ写真家)

日時：6/2(日)
午後2時～4時

場所：飯田市美術博物館
2F 講堂

入場無料，申込不要

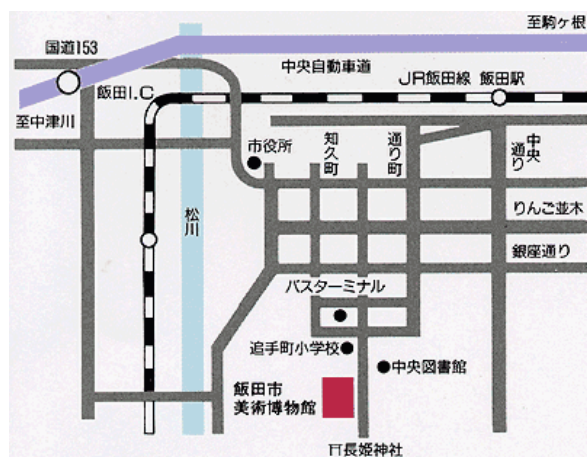
問合せ：0265-22-8118
伊那谷自然友の会事務局 蛭間

講師プロフィール

- 1950年 茨城県生まれ。
- 1970年 自然保護運動を始める。
- 1974年1月1日 信念を持って野糞を始める。
- 1975年 キノコ、コケ、変形菌など、菌類と隠花植物専門に写真活動。
- 1999年 年間野糞率100%を達成。
- 2003年 野糞千日行を成就。野糞連続記録(4700日以上)を更新中。
- 2006年 糞土師を名乗り、糞土研究会を設立。
- 2006年12月9日 野糞10000回達成。
- 2007年～2009年 野糞掘り返し調査実施。土中でのウンコ分解の実体を明らかにする。
- 2008年 『くう・ねる・のぐそ』(山と溪谷社、1500円+税)刊行。科学と哲学でウンコに迫る。



伊沢正名さん



美術博物館へのアクセスマップ

人は生き物である以上、エネルギー源の食物は欠かせない。**食**こそ基本中の基本だ。だが、食物を食べさえすれば生きていられるわけではない。

残念ながらヒトの消化能力には限界があり、食物のすべてを消化吸収することはできない。残りカスを、**ウンコ**として体外に排泄しなければならないのだ。

この『**食べてウンコする**』こと、つまり栄養源を取り入れて残りカスを捨てるのが、ヒトを含めたすべての生き物の、**生きる基本**だ。

そしてまた、ウンコは単に捨てるべきカスではなく、その一方で大切な栄養源として、**食物と同じだけの価値**を持っている。ではこれから、ウンコの本当の姿を求めて、糞土師と共に**糞土**の道を歩もう。

伊沢正名